

長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第4回 防災・安全部会
日時	平成22年11月25日（木）午後3時から午後5時
会場	長野市役所 第二庁舎10階 会議室17
出席者	作業部会員 （敬称略）
	関係課員

I 会議次第

- 1 開 会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第3回 防災・安全部会 ワークショップまとめについて
テーマ；政策3-1 災害に強いまちづくりの推進
- 4 ワークショップ
テーマ；より安心して暮らせる安全社会の形成
- 5 その他
- 6 閉 会

II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）

- 3 市民フォーラム21 第3回 防災・安全部会 ワークショップまとめについて
別紙資料のとおり確認した。
- 4 ワークショップ
(1) ワークショップについて
2グループに分かれ、“より安心して暮らせる安全社会の形成”をテーマにワークショップを行った。
結果、別紙のとおり発表があった。

外来種

新手の病気等の対策

ウィルス等に対してはチェックの現状は問題

外来種やペットの現状を把握し必要な規制なり対策を

消費生活

振り込め詐欺が多発している

振り込め詐欺が、後を絶たない

悪質な訪問販売が発生している

消費生活センターがあり、相談にのってくれる

安心のための情報共有のためのルール整備。個人情報保護一辺倒では問題あり

交通安全

法定速度を守らない等、違反者が多い

運転中の携帯電話の使用が依然としてなくなる

大幅な交通規制。ナンバーによって走行車両を決めるなど

駅周辺など放置自転車が支障となり危険。また、景観を損ねる

自転車、乗り物盗難の注意

自転車の歩道走行による歩行者の事故が発生している

自転車のマナーの悪さが目立つ

夜間の交通事故が多い(再掲)

防犯

防犯灯のない道がある

防犯灯の少ない地域がある

防犯灯のLED化の推進

夜間の交通事故が多い

不審者出没情報(場所、時間)を、GISに入れて分析し共有したらどうか

子ども(安心の家)場所の課題

ご近所力

子どもの火遊びによる火災が発生している(しつけ)

消費者意識向上のための教育制度

若夫婦が安心して子育てできるシステムを確立する。お金だけでなく人のサポートも

隣同士の声かけ運動

地域の関わりをもう少し前面に出せる空気にする。

シルバー人材の活動

地区間を結ぶ道路除草の格差

高齢化により除草ができない

ハード整備

県道等の歩道の不具合箇所がある

同じ場所で交通事故が起きている

歩道の点字ブロックがはげていて、視覚障害の方の歩行に支障がある

放火火災が毎年上位である

凶悪犯罪が多発している

犯人の検挙率が低い

住民自治協議会で防犯活動を行っている

時代が変わり、地区での防犯パトロールのあり方

万引きの防止(子ども)

中心市街地の悪質な客引き問題

外国人の現状をきちんと知り、正しい認識を持つことが必要

合併格差の統一を早く

交番駐在所に警察官が不在の時がある

交番が留守が多い

消費生活

アダルトサイト、出会い系サイトによる高額な利用料の要求などトラブルが多発

振り込め詐欺が悪質化している。警察との連携

新たな手口による悪質商法や詐欺に対する啓発が必要

振り込め詐欺などの事件が後を絶たない

不当な販売者に対する直接指導。不安・不審の申し出にすぐに査察等したらどうか

消費者問題を学校で教育してはどうか

消費者に対する啓発が不足している

ひとり暮らし高齢者や認知症の方の被害防止対策は？

市民の出前講座への申し込みが増加しており、学習意欲が高まっている

脅迫やいやがらせのため、家庭崩壊や自殺等が社会問題になっている

ひとり暮らし高齢者がトラブルにあう。地域での見守りが必要である

マルチまがい商法、悪質な通信・訪問販売、・・・などの事件の情報を伝える

屋根の修理を依頼してトラブルになった

啓発は行っているものの依然として被害に遭う市民が後を絶たない

消費生活センターの啓発。市民新聞、有線放送放送を活用している

啓発活動

熊などの野生動物による被害が増えてきた

大きな講演会から体験的・実践的な講習へ替える

より小さな会議で対策を考える

地域での啓発(住自協、老人会、ふれあい会食、お茶のみサロン)

小さな集まりの中で具体的な問題、解決法を話し合うことが必要

熊などの野生動物による被害が増えてきた

食の安全(輸入ものなど)

風評等の被害が後を絶たない

提案

住民自治協議会の広報誌に個別な交通事故の掲載を依頼

より具体的な情報提供システムが必要

犯罪情報のネットワーク化を図る

住自協立ち上げにあたり、改めて安心安全な社会の大切さを住民が認識した

健康ウォーキングと防犯活動を一緒に実践する

犯罪を起こりにくくするため、犬の散歩を集団で実施

車、自転車、ウォーキングなど、防犯パトロールの表示は良い

犯罪発生場所での安全点検

交通安全

カーブミラーの要望は多くある。付けると止まらない車がある

見通し確保と横断歩道の設置が必要

見通しの悪い生活道路がある

歩行者が居るときにランプの点滅で知らせる装置を付ける

道路照明が未整備。暗い道が多い

生活道路の交差点に危険箇所が多い

道路の安全性。重大事故等が起きないと改良されない

凍結道路の対策

冬季、車道へ雪出さないでほしい

自転車専用道の整備された芹田安茂里線はモデル

歩行者・自転車・自動車の分離通行が未整備

自転車利用が増加しているが、安全に走行できる環境の整備が追いつかない

自転車と歩行者の事故が10年で3.7倍(全国の数値)

自転車と歩道の分離の促進

歩道分離道路の整備促進(自転車レーンで)

歩道のない道を通学する児童がまだいる

一方通行にすれば自転車道は確保できる

放置自転車が多い。店舗等で自転車の駐輪場の確保

都市計画道路の整備促進

幹線・準幹線道路網が未整備

公共機関へのアクセスが悪い

高齢者の交通死亡事故が多い

車、自転車は夕方に早めの点灯

交通死亡事故は夜間が多い。自転車・歩行者の死亡事故が多い。高齢者が半数

季節別の交通安全運動中には街頭指導所が開設。秋には交通安全フェアが開催

自転車利用者の保険認知度が低い

各地で交通安全教室が市の交通安全教育講師によって開催されたくさんの人が参加している

交通事故は発生した場合、地元への周知が必要

学童の集団下校と見守り隊(老人会等)は良い

住民自治協議会などでの子どもの見守りが良くできている

防犯対策

年間犯罪発生件数は減少傾向

凶悪犯の件数が増加傾向にある

放火が減らない

自転車盗難多い。自転車利用者はロックを!

防犯灯は、区の一部負担でなく、市の全額負担でできないか